

発表日：2014年8月1日

DLE、「天才バカボン」初の長編アニメ映画製作開始！

株式会社ディー・エル・イー（本社：東京都千代田区 代表取締役：椎木隆太、以下DLE）は、8月2日赤塚不二夫さん没後7回忌を迎えるにあたり哀悼の意を込めまして、2015年、赤塚不二夫さん生誕80周年企画・国民的名作ギャグマンガ「天才バカボン」初の長編アニメ映画「天才バカヴォン～蘇るフランダースの犬～」を製作することを発表いたします。

【長編アニメ映画「天才バカヴォン～蘇るフランダースの犬～」概要】



物語は日本中に感動を呼んだあのフランダースの犬のラストシーンから始まる…がしかし…ネロとパトラッシュが天使の手を振りほどき、悪の手先となって現代に蘇り、いままで自分を虐げてきた人間への復讐の鬼となり悪事を繰り返す。しかし、そこに現れたのは、あのバカボン一家！！変わらない馬鹿さを武器に挑む！

本作は、ネロとパトラッシュの原作では決して見られない恐ろしい姿、そして変わらないバカボン一家の馬鹿さ加減、バカボンのあの名物キャラクターも多数登場し、そして感動？のラストにはあの人までも登場と超豪華な顔ぶれとなっている。

今作を通してバカボン一家の姿から、思いやりの大切さ、人間としての本当の“賢さ”とは何か、そしてお馴染みの“これでいいのだ！”のフレーズで現代社会を痛烈に皮肉りながら子供から大人まで楽しめる現代版「バカボン」を見事に描いていく。

■長編アニメ映画「天才バカヴォン～蘇るフランダースの犬～」

監督・脚本：FROGMAN

声優：FROGMAN、他

制作：DLE

制作協力：フジオプロ、ぴえろ、日本アニメーション

製作：天才バカヴォン製作委員会

配給：ティ・ジョイ

公式サイト：<http://bakavon.com/>

公開：2015年春予定

【天才バカボンとは】

赤塚不二夫による漫画作品。バカボンのパパを中心としたナンセンス・ギャグ漫画。『週刊少年マガジン』1967年第15号連載開始。その後『週刊少年サンデー』『月刊少年マガジン』『月刊テレビマガジン』『月刊コミックボンボン』など1994年まで数多くの雑誌で連載・読切作品を発表。文藝春秋漫画賞(1972年)受賞。1971年～2000年までの間に、アニメが4シリーズ放映された。

【フランダースの犬とは】

日本アニメーションが制作する「世界名作劇場」の第1作目として、フジテレビ系列で1975年に放映されたアニメーション作品。画家を目指す少年・ネロと愛犬パトラッシュが、日々の小さな幸せを感じながら、数々の試練に向き合っていく姿を描く。「世界名作劇場」シリーズは2015年に40周年を迎える。

【株式会社ディー・エル・イー 会社概要】

キャラクターの新規開発からキャラクターを活用したマーケティング・サービス、スマートフォンアプリ等の企画開発等、映像コンテンツの企画製作及びメディア展開プランの策定・実行までを統合的に手掛けるファスト・エンタテインメント事業を展開。

DLE代表取締役である椎木隆太が2001年に創業し、2005年にFlashアニメスタジオをスタート、その後、米国ハリウッド・メジャー型の著作権ビジネスモデルを、インターネット時代に適合したファスト・エンタテインメントモデルへ進化させたことで急成長し、2014年に東証マザーズへ上場。

本件に関するお問合せ：株式会社ディー・エル・イー (<http://www.dle.jp/>)

TEL：03-3221-3980 FAX：03-3221-3690 email：ir@dle.jp IR担当：岡部